絵本フォーラム

2019年7月10日　第125号

発行所　NPO法人「絵本で子育て」センター
芦屋 〒659-0067 芦屋市清水町2-21-405
TEL 0797-38-7516 FAX 0797-38-7939
http://www.ehonnedesodate.com/ E-mail info@ehonnedesodate.com
郵便振替口座 00990-8-161667

©NPO法人「絵本で子育て」センター 2019

体験が育む子どもの理解

栗本 優香（絵本講師）

大場が本ぶしい季節になりました。水遊びをする子どもたちの歓声、キラキラはねる水しぶき、そんな光景を目にすると、こちらまで楽しい気分になってしまいます。

＊　＊　＊

ところで皆さんは、虹はどうやったら見ることが出来るのかを知っていますか？

その答えを教えてくれる絵本があります。『にじ』（さく こ／絵、福音館書店）です。読みすすんでいくと、虹は太陽を背にして立った時、水しぶきや霧の中に見つける事ができる、ということがわかります。絵の中に出てくる男の子は、雨上がりの空に虹を見上げ、疑問や好奇心を膨らませます。公園の噴水に映る虹も見つけます。反対側へ回ると虹は見えなくなってしまいました。そんな男の子に、お父さんは洗車をするホースで水をまきながら、先ほどのように教えてくれるのです。

最近、日常のちょっとした疑問を5歳の女の子が教えてくれるテレビ番組が人気です。子どもの興味は、誰もが色々と素朴な疑問を抱いていたはずなのに、いつの間にか大人は、そんなことはすっかり忘れてしまっています。そうです、静かに、子どものちょっとした発見や好奇心に寄り添い、一緒に立ち止まって考え、より気なく伝えてくれる絵本です。

＊　＊　＊

小学5年生の娘が小さい頃には、雨上がりの空に虹を見つけては、親子でベランダから眺めていた事を思い出しました。ベランダで抱っこした娘の、汗ばんだ小さい身体のぬくもり、同じようろの蒸し暑さは、私の記憶の中に色濃く残っています。そんな風に、蒸し暑い中で目にすることも多い虹ですが、この絵本は、梅雨入りしたばかりの本当に涼しく感じられ、夏にぴったりの一冊です。国家の色の世界が、読み手に涼しさもたらしてくれます。

絵本の最後のページにも、然を感じ、興味・関心を深めていたせることのできる事前あって男の子は初めて「虹を知っている」と自信をもって言えたのではないだろうか。こんな風に、自分自身の体験に根差した知識や解釈が、たとえ大人の目には映らなくても、子どもの内面に豊かな積み重なっていくことに、喜びを感じられる大人でありたいものです。

＊　＊　＊

今年の梅雨の七夕は八月七日です。「短冊」ではなく、古から伝わる「梶の葉」を紙で作り、願い事を書いてみませんか？まだ間に合いますこの七夕飾りの文化にちょっとだけ触れてみることで、新しい自分と出会えるかもしれません。

そして次の日は立秋。暦の上では、もう秋です。読書の秋です！

（ふじかわ・きょえ）

黄金期がずっと続きますように

郡田 奈津子（神奈川県）

昌男が生後半年も満たない頃、千葉から名古屋へ引越したのを皮切りに5回も引越しが続きました。その間に次男、長女が生まれ、この時期の成長は目まぐるしく変わり、絵本にまつわる思い出は記憶の奥底へ行ってしまいましたが、絵本は良い「本の世界を楽しむ力をつけたい」と、時々図書館の絵本や、買いた数少ない絵本を寝る前に読んでいました。しかし一人一冊ずつ読んでいると覚醒してしまう我が子たち。早く寝かせたい私は「良いのタメ」と制限をかけ、よちよち歩きの頃から「こんな絵本あったよねー」などと、絵本は子どもたちと笑顔になれる共通話題の一つとなりました。

寝る前の絵本タイムが今では週に2～3回程度ですが、中3男子ラグビー見習い、小4長女が2冊選び小6次男もそっと2冊選び傍に置いていく姿はとても愛おしく、乳幼児期だけでなく思い立った時から絵本貯金期だと強く思う今日この頃です。

（こおりた・なつこ）

家族をつなぐ絵本の時間

坂田 紀子（大阪府）

転しました。娘が、年間数十日入院して過ごす生活が数年間続きました。我が家の読み聞かせは、病院の面会時間と、私に余力がある日だけという、私が理想としていた絵本の時間とは全く違うものになってしまいました。

そして今……。休日には自宅から、中学生の息子と小学生の娘たちの声が聞こえてきます。「たまご」をひとつふたつみっつ」「しろくまちゃんみたいに疲とちゃんがめだからね」それぞれの子どもに何度も読んだ絵本「しろくまちゃんのほっとけーき」（こぐま社）のなかのせりふやフレーズが飛び交います。

（「4冊までよ」、幼い頃、母にこう言われて寝室に持った絵本や、布団で読んでもらうのが、私には

「ほっとけーき」こぐま社

「2冊までよ」、幼い頃、母にこう言われて寝室に持った絵本や、布団で読んでもらうのが、私には

「ほっとけーき」こぐま社

絵本と子どもに気づかされて

沖元 佳那（兵庫県）

アーサー・ビナード氏の講義を聞き、その時「この本をかくして」という絵本を購入し娘たちに読ましました。ビナード氏が「この絵本には秘密が隠されているよ」とおっしゃっていたこともすっかり忘れていました。読み終えた後、暫く絵本を見ていた長女が言った「お母さん見て、この絵本自体が宝物の絵本になってるよ」と。カバー裏地と、運動会の前には「右足を前に出したら次は左足を前に出して、それを誰よりも早くすればいいんだよ」（ぼくのジィちゃん）後に成出版社）、「こんな絵本あったよねー」などと、絵本は子どもたちと笑顔になれる共通話題の一つとなりました。

寝る前の絵本タイムが今では週に2～3回程度ですが、中3男子ラグビー見習い、小4長女が2冊選び小6次男もそっと2冊選び傍に置いていく姿はとても愛おしく、乳幼児期だけでなく思い立った時から絵本貯金期だと強く思う今日この頃です。

（こおりた・なつこ）

絵本講師の発言席

伝える

藤川 清恵（絵本講師）

梅雨の間に七夕飾りを楽しみましたが？我が家は毎年、マフラーや「たなばた」（福音館書店）という絵本を飾り、季節を楽しみます。

我が子が小さかった頃は折り紙などで笹飾りを作りました。幼稚園に入ると持ち帰ってきた笹飾りを楽しみました。小学生の頃にはだいにしなくなりましたが、ところが近年、七夕が近づくにつれ「飾りが何もない」ということが度々ありました。ふと思い立って私の願いのこもったマフラーや絵本を飾ってはみたのですが、少し違和感を感じました。

＊　＊　＊

なぜ、冬に使うマフラーを七夕飾りとしていたかというと、我が子が通っていた幼稚園にきっかけがありました。その幼稚園は、「絵本」を通して、絵本の読み聞かせや絵本の貸し出しだけではなく、絵本のある生活を通して「心の教育」を進めていました。ですから、たくさんの絵本が所狭しと並んでいます。

ある時、上の子が「スレイのふくしまのあたらしい」（福音館書店）を何度も借りてくることがありました。

＊　＊　＊

七夕の由来を聞いている時に「素礼（しらら）」の先生のお話を聞く機会を得ました。生活の中で行う五節句の飾りは「見立て」の大事である」と学びました。「古き良き物を正確に残すことも大切ですが、今となってはうまく伝承されていないこともあるようです。それよりも、その習慣を現代の生活に合わせて暮らしに取り込み、心豊かな生活を送ることが大切なのではないか、わざわざその飾りを「買う」のではなく、家の中にある物をそれらしく使うことで立派なお飾りになるという内容でした。

伝統を受け継ぐというのは「形」だけではなく、気持ちを感じてもらえたと思います。

＊　＊　＊

七夕の日、上の子が「スレイのふくしまのあたらしい」の先生のお話を聞く機会を得ました。生活の中で行うてくることがありました。

＊　＊　＊

七夕の由来を聞いている時に「素礼（しらら）」の先生のお話を聞く機会を得ました。生活の中で行う五節句の飾りは「見立て」の大事である」と学びました。「古き良き物を正確に残すことも大切ですが、今となってはうまく伝承されていないこともあるようです。それよりも、その習慣を現代の生活に合わせて暮らしに取り込み、心豊かな生活を送ることが大切なのではないか、わざわざその飾りを「買う」のではなく、家の中にある物をそれらしく使うことで立派なお飾りになるという内容でした。

伝統を受け継ぐというのは「形」だけではなく、気持ちや文化を受け継ぎ、伝えていくことが大切なのだと改めて思いました。そのためにも、絵本講師として日々研鑽を積み、現代の生活に合った伝え方や良き文化の継承になるのではないかと考えています。そういう意味では、我が家の七夕飾りは、あながち間違いではなかったのではないかと思っています。

＊　＊　＊

今年の梅雨の七夕は八月七日です。「短冊」ではなく、古から伝わる「梶の葉」を紙で作り、願い事を書いてみませんか？まだ間に合いますこの七夕飾りの文化にちょっとだけ触れてみることで、新しい自分と出会えるかもしれません。

そして次の日は立秋。暦の上では、もう秋です。読書の秋です！

（ふじかわ・きょえ）

“たましい”をゆさぶる子どもの本の世界 114

飽肥 糺（絵本作家・エッセイスト）

先生とよばれる人はどんな人だろうか。大辞林によれば①学問や技術・芸能を教える人で、とくに、学校の教師であり、また、自分が教えを受けている人であるという。この意味にはだれでもすなおに納得できるだろう。ところが、大辞林には②の意味として「大辞林」の意味として「大辞林」の意味として「大辞林」